

# 賛美のもたらすもの



## ゼパニヤ書 3:14~17

3:14 シオンの娘よ。喜び歌え。イスラエルよ。喜び叫べ。エルサレムの娘よ。心の底から、喜び勝ち誇れ。

3:15 主はあなたへの宣告を取り除き、あなたの敵を追い払われた。イスラエルの王、主は、あなたのただ中におられる。あなたはもう、わざわざを恐れない。

3:16 その日、エルサレムはこう言われる。シオンよ。恐れるな。気力を失うな。

3:17 あなたの神、主は、あなたのただ中におられる。救いの勇士だ。主は喜びをもってあなたのことを楽しみ、その愛によって安らぎを与える。主は高らかに歌ってあなたのことを喜ばれる。

## 賛美の結果

私たちが神さまを賛美する理由は、ただ主のすばらしさのゆえである。しかし賛美には結果が伴う。聖書は、賛美の結果について、何と語っているのでしょうか。



## 神の臨在の経験

賛美において私たちは、神の栄光あふれる臨在を経験する。これひとつだけでも、賛美をとりたてて強調する理由がある。

詩篇22:3 あなたは聖であられ、イスラエルの賛美を住まいとしておられます。

賛美それ自身が神の臨在をもたらしのではない。しかしながら、私たちが神を賛美する時、私たちは神の力強い臨在を意識するようになり、私たち自身の考えから離れて、神ご自身に注意を集中するようになるのである。



## 伝道にとって不可欠

ローマ1:16 福音は、ユダヤ人をはじめギリシヤ人にも、信じるすべての人にとって、救いを得させる神の力です。

と、あるように主の十字架を宣べ伝えることは、救いを得させる神の力である。

## 私たちの口に 新しい歌が満ちる

しかし私たちの賛美は、私たちが神の力によって生かされていることを証しするものなのである。

詩篇40:3主は、私の口に、新しい歌、われらの神への賛美を授けられた。多くの者は見、そして恐れ、主に信頼しよう。

「罪がゆるされ喜んでいる」と、私たちが口で人々に語っても、私たちの生活が悲しみに満ちたものであり、ふさぎこんだものであるならば、誰も私たちの言うことを信じようとはしないであろう。

しかし、私たちの口に新しい歌が満ちるならば、多くの人々は神を信頼するようになるであろう。



## 神のしもべの賛美を 主は喜ばれる

ゼパニヤ3:14-17で神さまは、賛美の驚くべき結果について述べてる。神があがめられる時、神は神のしもべを喜ばれる。

ゼパニヤ3:14 シオンの娘よ。喜び歌え。イスラエルよ。喜び叫べ。エルサレムの娘よ。心の底から、喜び勝ち誇れ。

ゼパニヤ3:17 あなたの神、主は、あなたのただ中におられる。救いの勇士だ。主は喜びをもってあなたのことを楽しみ、その愛によって安らぎを与える。主は高らかに歌ってあなたのことを喜ばれる。



## 賛美する兵士

詩篇149:6 彼らの口には、神への称賛、彼らの手には、もろ刃の剣があるように。

何と奇妙な兵士であろうか。彼は賛美しながら戦うというのである。しかし聖書は、賛美は敵に対する有力な武器であり、それを効果的に用いるならば勝利は確信できると、多くの個所で教えている。



## 口には神への称賛

エリコの戦い、ヨシャパテの経験、ギデオンの勝利、パウロとシラスの獄中の賛美など、これらの各々の場面における賛美は、敵を倒すに際して用いた、何か神秘的めいたものではない。賛美は、神の力を解放する、彼らの信仰の現れだったのである。

私たち兵士も、手にみことばの剣を持つだけでなく、口に神への賛美を持つことができるように！！！！



## 賛美と礼拝に続くもの

詩篇96:3 主の栄光を国々の中で語り告げよ。その奇しいわざを、すべての国々の民の中で。

96:7 国々の民の諸族よ。主にささげよ。栄光と力を主にささげよ。

96:10 国々の中で言え。「主は王である。まことに、世界は堅く建てられ、揺らぐことはない。主は公正をもって国々の民をさばく。」

## 賛美と世界宣教

もし私たちが賛美のわざに参加するならば、すべての国民を主なる神のもとへ導く仕事に参加することになるであろう。

「この御国の福音は全世界に宣く伝えられて、すべての国民にあかしされ、それから、終わりの日が来ます」

賛美にあふれた教会は、福音を世界に広める働きをになっているのである。

私たちの生活にこれらの結果がみられる時まで、神を賛美することをあきらめてはならない。